

## 別紙 「令和4年度 学力向上アクションプラン」

足立区立東綾瀬中学校 校長 清野 正

	新 継	アクション プラン	対象・実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 <誰が、何を、どのように>	達成確認方法	達成目標 (=数値) いつまで・何を・どの程度
1	継 続	授 業 力 向 上	全教科	通 年 年15回	①小中連携による授業研究 (年7回) ・「人権尊重」の視点及び足立スタンダードに基づく授業改善 ②校内授業研究 (年4回) ・単元を見通した授業改善 ③管理職による授業観察 (年2回) ・授業観察時に全教員が学習指導案を作成 ・管理職による授業評価 ④東京都教育委員会訪問 ・全教科毎に指導主事を招聘し、授業研究を実施 ⑤生徒による授業アンケートの実施 (年2回) ・説明のわかりやすさ等について全生徒が回答	①年度末到達度確認テストによる検証 ②次年度区学力調査による検証 ③生徒授業アンケートによる検証	①年度末到達度確認テストの正答率各学年60%以上 ②令和4年度区調査通過率各学年70%以上 ③生徒授業アンケートの数値全項目10%以上向上
2	継 続	I C T の 活 用	全教科	通 年	①クロームブックの有効活用 ・振り返り…文書作成機能を用いて、自分の言葉で1単位時間の授業の内容をまとめたり、次の学習のめあてをもったりする。 ・探 究 …家庭学習で問いをもち、各種ソフトを活用し、授業で友達と協力して問題解決を図る。 ・反転学習…家庭学習で次時の授業の予習をしたり、次時に関連する既習事項を復習したりして、学校の授業で問題解決型の授業に取り組む。 ②デジタル教科書の活用 ・足立区が都のモデル区となっている英語及び理科のデジタル教科書の有効活用を図る。 ③モニター機能の活用 ・実物の投影などにより、授業における「実感を伴った理解」の深化・充実を図る。	① 管理職による授業観察 ②生徒授業アンケート	①ICT機器を活用して授業を行った教員が100% ②生徒授業アンケートで、有効に活用されたとする回答80%以上

3	新規	A Iドリルの活用	国語、社会、数学、理科、英語	通年	<p>①授業での活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>導入時の復習やまとめの時間において、A Iドリルを使った自主的な学習を行う。</li> </ul> <p>②A Iドリルタイム（放課後補充教室）での活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業での振り返りを基に、理解が不十分な個所等について自主的に復習に取り組む。</li> <li>授業の予習として、新しい単元の内容について、A Iドリルを使って事前学習を進める。</li> </ul> <p>③家庭学習での活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業での振り返りに基づき、A Iドリルを活用して復習に取り組みさせるなど、生徒が「自立した学習者」となるよう支援する。</li> </ul>	<p>①年度末到達度確認テストによる検証</p> <p>②次年度区学力調査による検証</p>	<p>①年度末到達度確認テストの正答率各学年 60%以上</p> <p>②令和4年度区調査通過率各学年 70%以上</p>
4	継続	サマースクール	数学、英語	夏季休業中の7日間	<p>基礎学力の定着及び学習の習慣化、学習意欲の向上</p> <p>【指導体制】教科担当＋学年サポートメンバー</p> <p>【取り組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初日に事前テスト、最終日に事後テストを実施し、結果を比較し、数値を算出、入力する。</li> <li>学年の教員で補助を行い、一人一人に対してきめ細かい指導を心掛ける。</li> <li>1・2学年は期間中毎日、受講生徒対象に夏季課題（宿題）補習時間として1時間設ける。</li> </ul> <p>【使用教材】区学力調査問題、区学力調査復習問題「次へのステップ」（C4th 書庫）、自作プリント等</p>	事前テスト 事後テスト	最終日に事後テストを実施し、正答率 10%以上上昇
5	再開	中1夏季勉強合宿	算数・数学	2泊3日	小学校で学習した算数の内容を中心に、中学校数学で必要となる既習事項の復習・定着を図る。	事前テスト 事後テスト	終日に事後テストを実施し、正答率 10%以上上昇